



# 士別ロータリークラブ会報

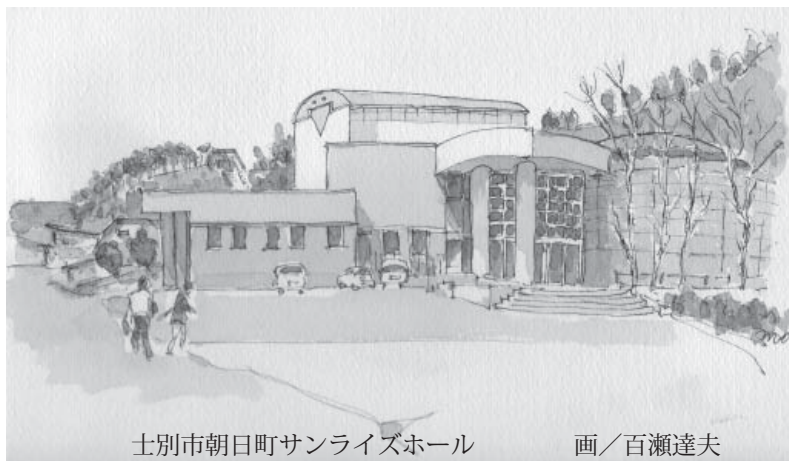
創立 1960・3・24 RI 第 2500 地区

Vol. 027 No. 2169



率先しよう

2006 ~ 2007 年度 RI 会長  
ウィリアム ビル・ボイド



士別市朝日町サンライズホール 画/百瀬達夫

## 第 2248 回例会 2007 年 2 月 26 日(月)

### 本日のプログラム

・夜間例会

例会場/士別グランドホテル  
例会日/毎週月曜日 12:10 ~ 13:10  
事務所/士別グランドホテル  
TEL 0165-23-1234

会長/大塚 勝人  
副会長/野崎 英男  
幹事/菊地 博

### ■前回(2月19日、月曜日)の記録■

・普通例会(2/23ロータリー創立記念日)・会員卓話『野崎副会長』

司 会 若森 孝 会場監督

斉 唱 奉仕の理想

本日の出席 出席率 77.6% 会員 67 名中 出席者 52 名

本日の欠席 阿達 勇、犬伏彰吾、江端捷浩、扇谷雅樹、川原一夫、國森和磨、斉藤 進、  
佐藤元保、佐藤安司、汐川康晴、田中 全、鍋島 秀、福島栄三、吉川紀雄、  
谷 温恵、

メイクアップ

ビジター

ゲスト

ニコニコBOX 千葉道夫(士別雪まつり終了御礼)

今井忠則(士別 RC 創立 50 周年事業費として)

加藤 博(子供結婚)

累計 296,000 円

### 例 会 予 定

#### 3 月・識字率向上月間

3 月 5 日(月) 普通例会・理事会

3 月 12 日(月) 普通例会

3 月 19 日(月) 普通例会

3 月 26 日(月) 士別 RC 創立記念日例会(夜間)

#### 4 月・ロータリー雑誌月間

4 月 2 日(月) 普通例会・理事会

4 月 9 日(月) 普通例会

4 月 16 日(月) 普通例会

4 月 23 日(月) 夜間例会

4 月 30 日(月) 休会(振替休日・みどりの日)

## ■会務報告 大塚勝人会長

●2月7日に高額寄付者の感謝状贈呈式が文化センターで行われ出席してきました。士別ロータリークラブは社会奉仕活動の一環として毎年地域に貢献してきましたが、昨年は児童図書15万円相当を寄贈したことにより贈呈を受けました。

●各地で雪祭りが開催されましたが、今年は暖冬で雪像が融け関係者が大変苦労したようですが、士別の雪まつりも無事盛大に開催されました。お手伝いされましたロータリー会員の皆様ご苦労様でした。

●前にご報告致しました、IT委員会に作って頂きました、過去の会報を収録したCDを本日ロータリー創立記念と言うこともあり今一度、観覧致しました。色々面白い事や参考に成ることが載っていますので、ご活用して頂きたいと思えます。

●17日に加藤博会員のお嬢さんの結婚式で旭川に行き参りました。23歳同士の若いカップルで幸せになっていただきたいと言う気持ちで出席して参りました。

## ■幹事報告 菊地 博幹事

①財団法人士別中小企業勤労者勤労者福祉協会職業能力開発推進委員会小林一男委員長より、地域おこし講演会開催の案内が届いております。開催日時2月23日(金)午後6時士別市民文化センター4階小ホール、講演テーマ、今後の政治と地域経済に期待するものと題して、講師はテレビ朝日コメンテーター三反園訓氏で御座います。一人でも多くのご聴講をお待ちしているとのことで御座います。

②第32回士別ピヒカラ樹氷歩くスキー大会岡田晃大会長より、大会に係わる大会役員の委嘱についての依頼が届いております。士別RC現会長大塚勝人氏を名誉副大会長に委嘱を致しますとのことで御座います。大塚会長謹んでお受けをされるとのことで御座います。

③士別ライオンズクラブ様よりクラブ会報若獅子が届いております。入り口の資料テーブルに置いて御座いますので、ご一読をお願い致します。

④釧路ベイロータリークラブより、創立10周年記念例会・祝賀会のご案内が届いております。月日時4月21日(土)午後3時30分より会場は釧路全日空ホテル、会費10,000円、登録締め切りは3月5日です。登録されます会員は、2月26日夜間例会までに幹事まで申し出下さい。

⑤3月24日紋別市で開催されます、RI 2500地区開催市民フォーラム参加につきましては、2月の理事会におきまして、メイクアップ対象と決定致しました。参加登録を頂けます方は、2月26日夜間例会までに、各テーブルに置いて御座います申し込み用紙をお願いを致します。

⑥4月の例会案内を申し上げます。4月はロータリー雑誌月間です。2日は例会～理事会、9日例会、16日例会、23日夜間例会、30日休会(振替休日みどりの日)

## ★委員会報告

### ◎ロータリー財団委員会 大野裕一郎委員長

ロータリー財団委員会から途中経過の報告を致します。

結婚記念日を対象にしていますニヤニヤボックスに付きましては、該当者67名の内27名が済んでいます。そのご協力金として、54,000円を頂いております。また、ワンコインで国際貢献を対象にしています慈愛ボックスは262,000円。一般会計から財団寄付、65名分、162,500円。合計478,500円と今年度、大塚会長と谷会員がマルチポールハリスフェロー認証所得の総合計で595,000円を今月の末から来月の中旬にかけて一回目の振込みを致します。ちなみに目標額として767,000円の内77.6%に成っています。残り172,000円につきましては引き続き皆様にご協力を頂き7月の中旬に送金致します。

## ★その他の報告

### ◎菊地 博幹事

2月4日、今井忠則会員の御父様がお逝去されました。この葬儀に対しましてクラブを含め皆様方に大変お世話に成りましたと言うことで、本日士別ロータリークラブ創立50周年の事業費として多額の寄付を頂きました事をご報告致します。なお取扱に付きましてはニコニコボックスに入れさせて頂きますのでご理解をお願い致します。

### ◎今井忠則会員

過日、父の葬儀の際にはクラブからもご香典を頂き、また多数のメンバーの方々のお参りを頂きまして誠に有り難うございます。お陰様で初七日、十四日の日常の営みに心静かに今立ち向かわせて頂いているところでございます。父はしばらく士別を離れていまして、昔の友人の方々には既にこの世には亡く、と言うことでそれでもこの中には百瀬先生のように父の病状につきまして外方ならぬお世話をお掛けした方もいらっしゃると思います。生前の父に成り代わり皆様にご心よりお礼を申し上げますと共に葬儀につきましても重ねてお礼を申し上げます。

## ★次年度報告

### ◎千葉繁夫次年度幹事

ロータリー手帳の申し込みの件ですが、本日までと成っていますので、ご希望の方は私までご連絡をお願い致します。

会長エレクト研修セミナー並びに地区協議会の日程だけが情報として入っています。4月27・28日の2日間、北見で開催される予定です。詳細はご連絡がきましたらお知らせ致しますので、出席義務者の皆様はよろしくお願い致します。

## ◆プログラム

### ◎プログラム委員会 神田英一委員長

2月がロータリー創立記念日と言うことでクラブ奉仕委員長であります、野崎副会長に卓話をお願い致しています。3月の予定は12日に国際奉仕委員会をお願いをしています。19日は南部会員にお願いしています。本日は国際ロー



タリーの記念日ですが、3月26日は士別ロータリークラブの創立記念と言うことで、西條会員の方からお話を頂く事になっています。

## ◆卓話

### ◎野崎英男副会長

2月は世界理解月間・ロータリー創立記念という事で会員卓話の依頼が昨年末、神田委員長からありました。プログラム委員会で検討の結果、例年とスタイルを変えて若い会員の卓話をと、若い会員と言う言葉に惑わされ引き受けてしまいました。

後で考えてみたら、若い年齢では無くロータリー暦10年では会員としてはまだまだ若い、これを機会に勉強なさいと言う先輩会員のありがたいお言葉と理解して今を向かえました。文字通り、早速、泥縄、にわか勉強で月間テーマ「世界理解・ロータリー創立記念月間」の勉強に取り組みましたが、到底5分や10分でお話できるものでは無いことがわかりましたので、あらためてロータリーの歴史のおさらいをしたいと思います。

ご存じの通り100年前シカゴ市で事務所を構えていた青年弁護士、ポール・ハリスは当時の社会風潮を憂い考えを同じくする友人三名と共に諮り友人を集め、各自の事務所を持ち回りで集会を開く事からロータリークラブと名づけられ1905年2月23日シカゴロータリークラブが発足、以来100年の経過と共に現在168国、32,554クラブ、1,208,562人の会員を有する職業倫理を重んじる実業人・専門職業人の集まりとなりました事は会員皆さんお周知のこととおもいます。昨年、国際ロータリーでは、一般の人たちがロータリーに対してどのようなイメージを抱いているかアメリカ・日本等世界6ヶ国でアンケート調査が行なった記事がありました。全体の集計はまだ開示されてはいませんが日本国内での調査結果概略が「ロータリーの友一月号」に記載されていました。お読みになった会員もいらっしゃると思いますが、統計学上認められている調査方法で調査件数1500件、回答674、「ロータリーを知っている、あるいは名前を聞いた事がある」との設問に222件(約3分の1)がYESそれを更に質問を進めていくと、道路に設けられているロータリーや、ロータリーエンジン等の答え、その他をのぞくと「ロータリークラブ」にたどりついたのは回答者の10%強と言う結果がでたそうです。また「ロータリークラブ」の行事に参加したことがあると答えた回答者22名の中には「ロータリーはクリスマスパーティーをすところだ」と思っていたという女性の回答もありました。多分、おじいさんか親戚のロータリアンに年末家族会に連れて行ってもらった経験だと思います。知名度約10%強という数字の評価については、今回初めての調査でもあり他の団体たとえばLクラ



ブ等との比較のデータもありませんので今後の判断に委ねたいと思います。さて会員の皆さん、私たちは全て推薦されて・入会を認められて会員となりました。入会に際し、どの様な言葉でロータリーを説明され、どの程度ロータリーを理解して入会されたのでしょうか？また会員になってからも会員増強委員として、あるいは一会員として入会を勧めるにあたり、どのような言葉でロータリーを説明し納得してもらえたのでしょうか？昨年、紋別で開催された地区大会シンポジウムでパネラーを務められたパストガバナーのお話です。

1. ロータリークラブは色々な職業を生業とする人の集まりである事。
2. クラブは定期的な集会があり出席の義務があること。
3. クラブには組織上、いくつかの役割がありその何れかに属しそれぞれ責任を負わされる事。
4. 年会費他平等の負担が課せられる事。
5. 集まり、意見を交歓する事により会員の親睦を深め、会・会員個人として奉仕として社会に貢献する。

6. ロータリークラブの歴史、規模等についても説明して理解をしてもらい加入してもらおう(記憶の想い起こして)このような趣旨で話されていました。参考になるお話でした。

2月の月間テーマは世界理解月間です。世界にはさまざまな国がありロータリアンはそれぞれの地域・身近な自分たちの地域はもちろん、遠くはなれた国の人たちのためにもさまざまな活動をしております。国際ロータリーを始め各国、各地域のクラブが活動・奉仕を必要とするための情報・知識の収集、理解を深めるのが2月のテーマ「世界理解月間」だと思います。身近な事例では、識字率の向上のための事業・ポリオ撲滅のための等の国際的奉仕から「ロータリーの友」2月号にも記載されておりますが「世界の各地で活動するロータリアン」にみられる様に色々な事業、或いは日本のロータリーが世界に誇る奨学制度「ロータリー米山記念奨学会」や身近では昨年当クラブの事業でありましたマッチンググラント「タイのナン病院への人工呼吸器寄贈事業」、海外からの留学生の短期受け入れなどはまさに世界を理解する事による奉仕事業と考えられます。会員一人・一人の力は微々たるものですが、クラブ運営の経費の一部からまた例年クラブ・ロータリー財団委員会が苦勞して会員の理解を得て集められた基金が識字率の向上のための事業・ポリオ撲滅のための等の国際的奉仕に結びついている事など考えると、今年度のロータリー財団委員会の提唱による「ニヤニヤボックスの創設」「ワンコイン国際貢献」士別ロータリークラブオリジナルヒットグッドアイデアと言っても過言ではありません。奉仕のための負担は平等であるべきは当然で次年度以降も続けられて然るべきだと思います。皆様如何でしょうか？